

全三河駅伝 中学生の部

審判マニュアル

令和3年1月10日（日）

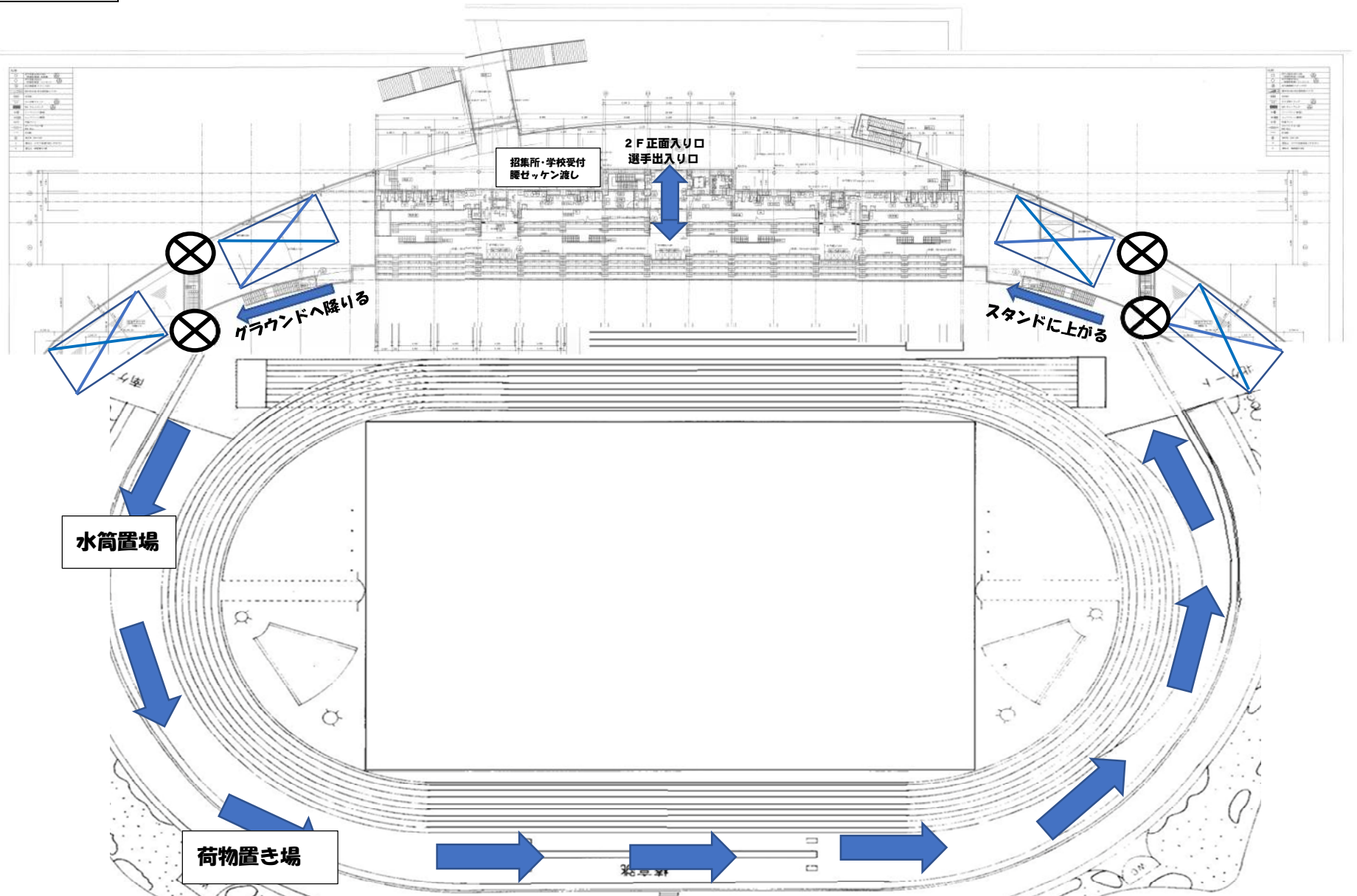
主任者会 8：00

部署打ち合わせ 8：15～

***各部署の競技役員は関連する部署のマニュアルをご確認ください。**

***ここに記載されていない部署も、アルコール消毒、手洗いに努め感染予防に配慮して運営をしてください。**

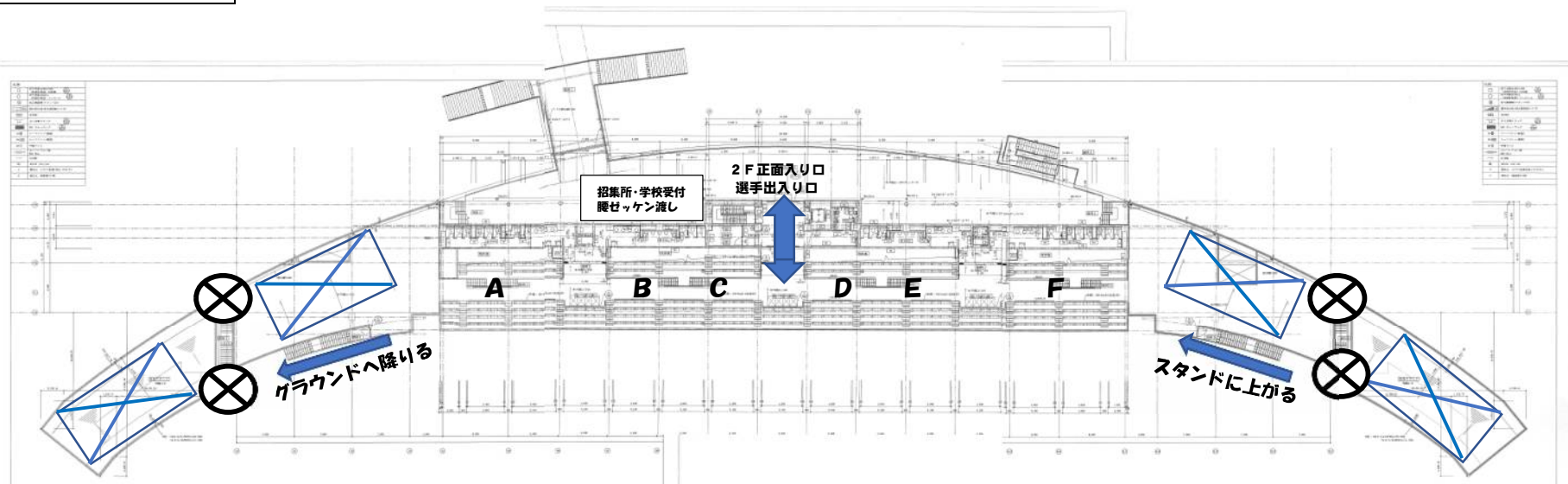
選手の動線



【選手の動線について】

- ◎競技場内は一方通行とする。
- ◎出入口はスタンドに設け、それ以外の場所からは競技場への出入りはできない。その際、健康管理チェックシートを見せること。また、グラウンドレベルのゲートも封鎖する。
- ◎スタンドに入れるのは、選手と学校受付で配付されたIDを持った顧問や代表者のみ。IDは各チームに1枚ずつ発行する。競技場内には選手のみ入場可能とする。
- ◎競技場内を通過する際には、開催競技に支障が無いように十分配慮すること。
- ◎招集完了はタイムテーブル記載のとおり。場所はスタンドの外に設置する。その際競技役員に健康管理チェックシートを渡すこと。健康管理チェックシートを提出できない場合は出場を認めない。
- ◎トラック種目はゴール付近に設置した腰ゼッケン回収所で腰ゼッケンを返却し、荷物置き場に戻る。その際遠回りでも、グラウンドを一周すること。
- ◎競技終了後速やかにスタンドから退出すること。
- ◎記録の速報は行わないので、記録速報ページで記録を確認すること。アナウンスによる発表は行う。
- ◎荷物置き場について
荷物置き場は競技に臨む最低限の荷物を置く場所とする。一人一枚大きめのビニール袋（40L以上）を用意し、その中に自分の荷物を管理すること。

スタンド割り振り



<スタンド割り振り> *座席が限られていますが、密にならないように配慮してください。

A・B・Cブロック：岡崎・幸田地区

D・Eブロック：岡崎以外の西三河地区

Fブロック：東三河地区

- ◎スタンド内に各チームの控え場所を設置することはできない。芝生スタンドにも各チームの控え場所は設置できない。
- ◎スタンドに入れるのは、選手と学校受付で配付されたIDを持った顧問や代表者のみ。IDは各チームに1枚ずつ発行する。
- ◎スタンドでは、座席は隣接する席を使わず、ソーシャルディスタンスを保つこと。
- ◎スタンド及び競技場内での応援は禁止とする。
- ◎競技終了後、速やかにスタンドから退出すること。その際、必ず手洗いをする事。

<競技委員の留意事項>

～ スターター ～

○ 運営に関わること

- ・ こまめに手洗いを実施する。(活動の前後は必ず手洗いをを行う)
- ・ 衣服の貸し借りは行わない。
- ・ 基本的にマスクを着用する。
- ・ 机・椅子など使用した部分については、使用後に直接アルコールを噴霧し、消毒する。

○ 競技に関わること

- ・ ピistol、マイク等の電気系統の用具を使用する役員が変わる場合は、アルコールを雑巾に噴霧し、拭いてから次の役員が使用する。
- ・ ピistolコード、電源ボックス、スピーカー、発射機などの常設してあるもののうち、電気系統の用具は、競技会終了後、片付けの際に、アルコールを雑巾に噴霧し、拭いてからしまう。
- ・ 他者と共有する用具を使用した場合(電気系統のもの以外)は、アルコールを直接噴霧する。
- ・ 当日の気温、湿度、競技時間などに沿って、ローテーションを決める。(例:午前午後、2班交代制 など)
- ・ スタート台の準備については、用器具と話し合い、準備する方法を決める。
(スターターが準備 or 用器具が準備)

～出発係～

- ・ 競技実施方法を確認し、選手に対応する。
- ・ ビニール手袋を着用する。
- ・ 選手と接する際、十分な距離を確保し、マスクを着用する。
- ・ 待機選手の間隔を十分に取らせる。
- ・ 選手を整列させる係を決める。
- ・ 予定時間より早く、他の組の選手を入れない。
- ・ トラック競技の選手控えは、スタート前3組程度までとする。
- ・ インカム使用時は必ずマスクを着用する。
- ・ 同じインカムを共用する場合は、消毒してから他の出発係に渡す。

<競技前後の留意事項>

☆ 競技前後の待機場所での密集を回避する

○待機場所について

・荷物は、指定の場所に置く。

200mなどは、トラック上に待機場所を設定する。選手は、審判員の指示に従うこと。※下図参照

・長距離種目出場者で、ゴール地点に水筒が必要な選手は、所定の水筒置き場に水筒を置く。

審判員は、「水筒置き場に水筒を置いてよい。」ことを選手に伝える。

・競技終了後、すみやかに待機場所に戻り、荷物を移動させる。また、待機場所には、競技場内のトラックの外側を通過して戻る。

○その他

・自分の荷物は全てビニール袋に入れて管理する。※ ビニール袋は、選手が各自で準備する。

・競技終了後、すみやかに自分の荷物を持って退場する。

○審判について

・入場、退場の指示を出す人員を配置する必要がある。(出発係+1名)

監察係

- 基本的にはマスクを着用するが、熱中症等に十分気を付ける。
- 選手及び競技関係者と十分な距離が保たれている場合のマスク着用は強要しない。
- インカム使用時は必ずマスクを着用する。
- 同じインカムを共用する場合は消毒をして他の監察員に渡す。
- 黄旗及びイスについては、他の監察員と共用せず、全競技終了後消毒を行う。
- 走り終えた選手が、自分の荷物を取りに荷物置き場に歩いて移動する際に、レースの邪魔にならないように、スタートの際は静かに座るように促す。
- 選手が倒れた場合は、速やかにトレーナーに連絡をする。

朝の準備の動き

- 7：00 開門
- 7：20 準備にご協力いただける役員（特に跳躍審判員、監察、出発、用器具）は
走幅跳ピット付近に集合
準備割り振り（担当）
- 8：00 主任者会
- 8：15 部署別打ち合わせ

マーシャル・ウォーミングアップ場系の運営マニュアル（岡崎.ver）

○マーシャルの運營業務および配置人数 2チーム編成 人数は主任判断で変更可。

- ① スタンド出入口の管理 2人
- ② ウォーミングアップ場（芝生広場）＋競技場周辺の監視
*今大会はウォーミングアップ場の係が行う
- ③ スタンドとグラウンドの階段 2人
- ④ グラウンド内 2人

○それぞれの部署で行うこと

- ① スタンド出入口の管理
 - ・ 可能な限り、フェイルシールド or マスクをつけて業務を行う。
 - ・ 出入りをする選手の健康チェックカードをチェックし、入場を許可する。
最初にチェックカードを確認した際に、大きく赤○を打ち、2回目からはチェックカードの確認を簡略化する。入退場の際には、手指消毒を促す。
*体温チェックは最初の入場時に行う。
 - ・ 各チームの顧問はIDの確認をし、入場を許可する。その際に、手指消毒を促す。
 - ・ 招集を終えた選手は、健康チェックカードをもっていないので、選手かどうか判断が付く場合は、入場を許可する。分からない場合は、ゼッケンを確認し、出場選手かどうかを口頭で確認する。
- ② ウォーミングアップ場（芝生広場）＋競技場周辺の監視
 - ・ スタンド裏やサッカー場など選手がウォーミングアップをしている施設をまわる。
*入り口の管理は不要です。瑞穂ほど厳密には行わない。
 - ・ 選手が密集してウォーミングアップをしていたり、大きな声で話をしていたりした場合に注意を促す。
 - ・ 器具を使ってのウォーミングアップは禁止する。ラダー・ハードル等も不可。投擲物も不可。スパイクシューズも不可。
 - ・ 注意を聞き入れない場合は、主任に相談し、場合によっては本部に相談する。
- ③ スタンド
 - ・ 生徒や顧問が密集して座らず、間隔を開けるように声をかける。
 - ・ スタンドとグラウンドをつなぐ階段付近を重点的に監視し、動線に従わない選手に声をかける。
 - ・ グラウンドに降りようとする顧問等の大人を制止する。
 - ・ 声を出しての応援は禁止されているので、声を出して応援している場合は注意を促す。

④ グラウンド内

- ・ 選手に動線に合わせた動きを遵守させる。
- ・ 競技役員にも可能な限り動線に合わせた動きを促す。
- ・ ゴール地点・スタート地点の密集を避けさせ、密集している場合は解散させる。

写真判定員・情報処理（岡崎 ver）

○待機場所

- ・控え室など分散して待機し、密を避ける
- ・換気の徹底

○機器の消毒作業

- ・競技会開始前、競技会終了後にパソコンのキーボード、マウス、ランニングタイマーなどすべての使用機器の消毒作業（アルコールやウエットティッシュなどを活用する）

○その他

- ・マスク着用の徹底
- ・作業前後の手洗い・消毒の励行

○情報処理は以下の作業を競技開始前に必ず行う。

- ①——タブレットPCの充電——*朝一番で！！
- ②——無線設備の設営
- ③——フィールド各部署へのPCの配置
- ④——フィールド競技測定装置及び、競技場ネットワークへの接続テスト
- ⑤ 写真判定機との接続テスト

○戻ってきた機器は基あった場所に丁寧にしまう。その際に消毒出来る物は消毒をする。

*数の確認を必ず行うこと。ケーブル類や端子類など細かい備品に注意！

○記録速報は随時チェックをしながらあげる。

競技者係（岡崎 ver）

< 招集について >

（1） 招集場所

スタンド裏：スタンド入り口横に設置。招集完了後、腰ゼッケンを受け取り、競技場内の動線に従って、移動させる。その際、体調管理チェックシートを提出する。

（2） 競技用シューズの規定変更への対応

旧ルールは適用されません。

（2） 招集の流れ

- ① トラック種目はスタンド裏：入り口横。
- ② 競技場内の動線に従い、トラック種目はスタート地点に行く。
- ③ 待機場所はソーシャルディスタンスを確保して、場所をつくり、レーンごとに荷物を置くこととする。選手には、招集場所に早く来すぎることのないように注意する。
- ④ 腰ナンバーカードについては、招集所で貸与する。走り終わった後、腰ナンバー回収所で回収し、消毒をした上で、次の走者が使用する。
- ⑤ トラック種目は、招集が完了した後、PC への入力を行う。各部署へのコール用紙の配付は招集所で複写し、行う。

（3） 招集後から競技開始まで

- ① トラック種目については、招集完了後、選手の待機場所へ移動する。待機場所では場所を指定して距離をとって待機させ、競技の準備を行う。待機場所での動きは出発係の指示に従う。招集時に、荷物が入る大きさの袋やかばんを持参し、競技開始前にシューズ以外の荷物を入れる。競技前のウォーミングアップは競技場の空きスペースで行う。出発係の指示で、スタート地点に移動し、競技を行う。

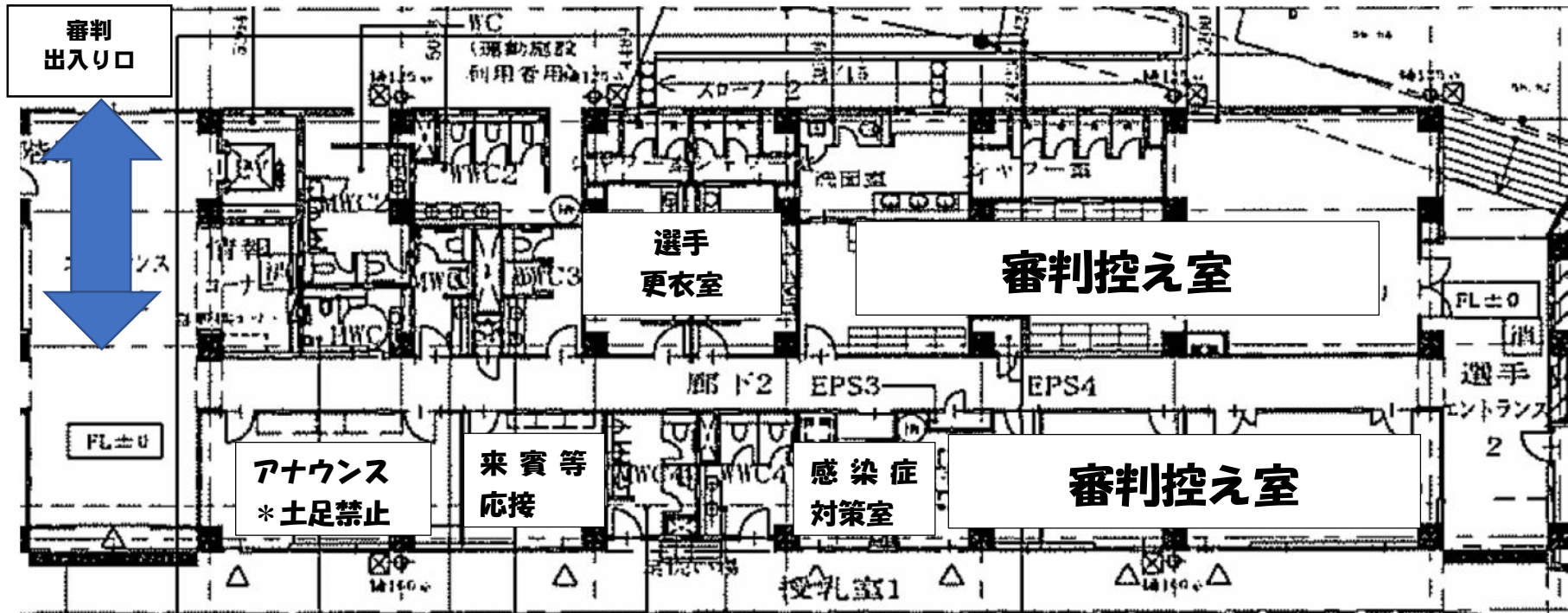
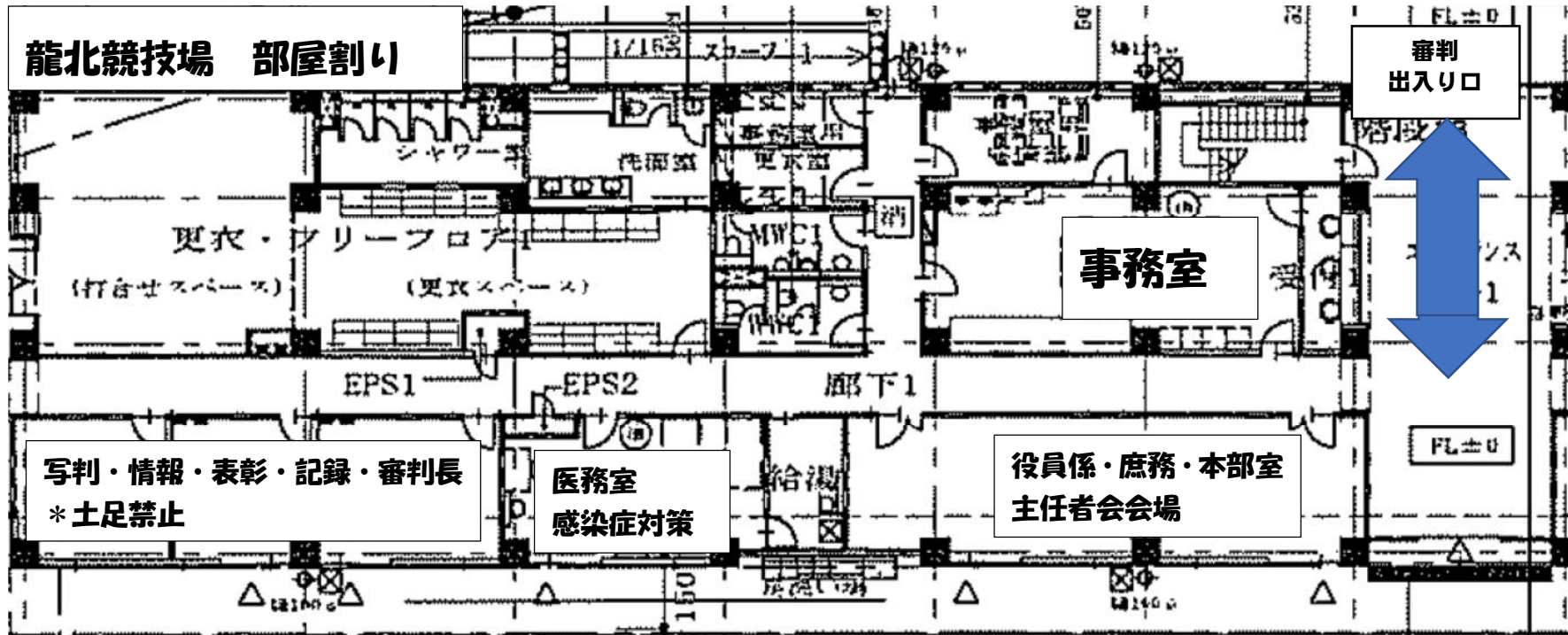
（4） 競技終了から荷物の引き上げまで

- ① トラック種目については、ゴール後、トラックを歩いて 1 周し、荷物が置いてある場所へ向かう。選手は、袋やかばんに入った自分の荷物やシューズを持ち、入場したゲートから速やか競技場外に出る。
審判は、選手の誘導や待機場所から出るように指示する。着替えなどはこの場所では行わないようにし、次の選手を入場させる。

（5） その他

- ・選手・役員以外の者が競技エリアに入らないように、各場所を閉鎖しておく。
- ・更衣室の使用は女子のみ許可する。
- ・指名の訂正は招集所で受け付ける。コール用紙と訂正プロに記入する。情報処理はコール用紙の訂正を見て、データ上の訂正を行う。訂正プロは大会終了後本部に提出する。

龍北競技場 部屋割り



表彰係

1 受け渡しのタイミング

アナウンス後、チーム代表者に取りに来てもらう。表彰室（記録し横）を受け渡し場所とする。
チーム代表は1名のみとする。

2 表彰後の選手の動き

表彰を受け取ったら、1 F 中央玄関より、外に出したい。中央玄関からの逆走は不可。
中央玄関は表彰を受けた選手の出口として使う。